

令和3年度学校評価 結果

川口高等学校

- 1 実施時期 令和4年 1月31日(月)～ 2月15日(火)
 2 対象・回収率 (調査方法 質問紙法)

分類		外部評価		自己評価	生徒		
対象		保護者	学校運営協議会	教員	1年	2年	3年
期末	回答率	78%	82%	100%	94%	100%	100%

3 調査結果

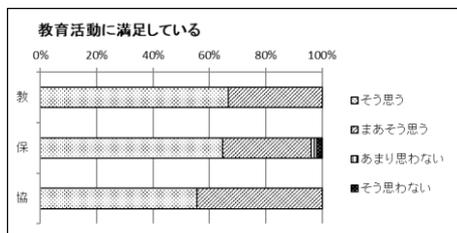
(1) アンケート項目の設定と分析の観点

保護者、学校運営協議会委員、教員のアンケートは、学校経営・運営ビジョンの3つの重点目標の6項目から評価項目を立て、同じアンケートに回答する形にした。これにより、三者の評価の違いを回答結果から確認、分析できるようにした。分析の観点は、以下のとおりである。

- (1) 三者の評価が同じ状況である場合は、学校運営がビジョンに沿って順調に行われている、又は、その逆に大きな問題があると判断する。
- (2) 三者の評価にずれ(別の傾向の評価)がある場合は、改善を有する問題があると判断する。
- (3) 「そう思う」、「まあそう思う」の回答は、学校運営に対する肯定的な評価と判断する。その中で、「まあそう思う」の評価が「そう思う」上回る場合は、やや評価が低いと判断する。
- (4) 「あまり思わない」、「そう思わない」の回答は、学校運営に対する否定的な評価(問題があるとする評価)と判断する。その中で「そう思わない」とする評価がある場合は、問題が顕著に認識されている内容があり、喫緊に改善を要する事項であると判断する。

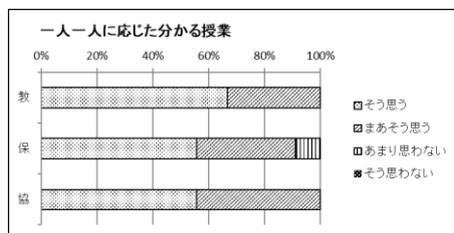
4 学校運営・経営ビジョンに対する評価

(1) 本校の教育活動全般に満足している。



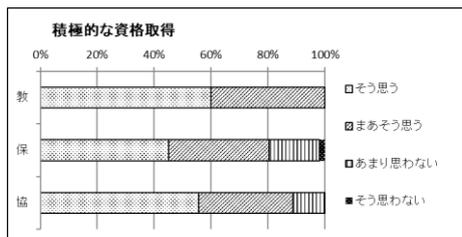
全体として肯定的な評価である。教員と学校運営協議会委員(以下委員)の満足度は高い一方、満足できない(課題を感じている)保護者がいることがわかる。昨年度に引き続き、ウイルス感染対策で様々な行事の中止や活動の制限があったことが影響していると思われる。

(2) 学校は、生徒一人ひとりに応じたわかる授業を行っている。



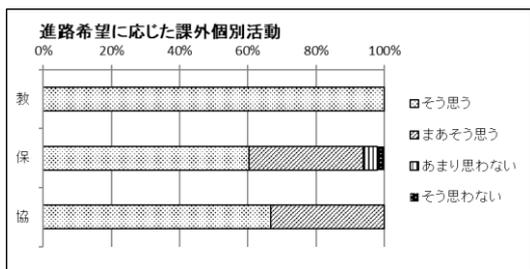
全体として授業への満足度は高い。保護者の中には、もっと個々の生徒に応じた授業をしてほしいという要望があることがわかる。

(3) 学校は、生徒が資格を積極的に取得をするようにしている。



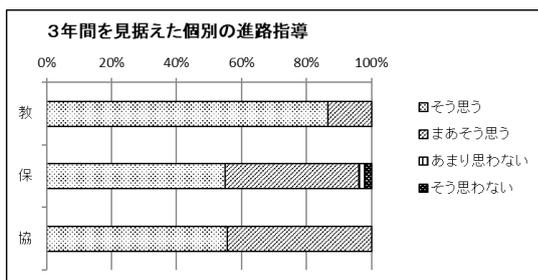
教員は資格取得に対してよく取り組んでいると評価しているが保護者や委員はやや課題を感じていると判断できる。資格取得に対する生徒への意識付けがさらに必要であると考えられる。

(4) 学校は、生徒の進路希望に応じた課外個別導を実施している。



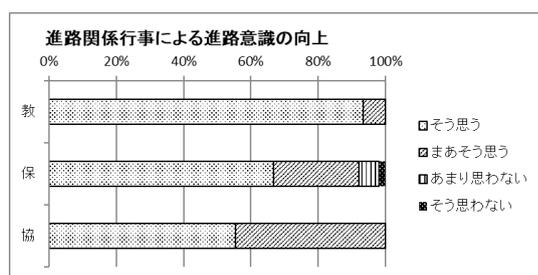
全体的に、満足度が高い。生徒の多様な希望に応じた指導が進路実現に結びついていることから、教員の自己評価は高い。一方、満足度が低い保護者がいる。

(5) 学校は、生徒の3年間を見据えて、進路希望調査や進路相談など個別の指導を行っている。



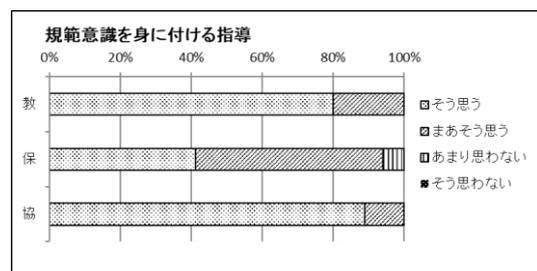
教員は、3年生の進路もほぼ希望通りに実現していることから、指導に対しても肯定的な評価となっていると言える。委員も、進路に関する指導を良く評価している。反面、やや不足を感じている保護者がいることがわかる。

(6) 学校は、進路に関する講座や企業説明会などの進路関係行事を行い、進路意識の向上に努めている。



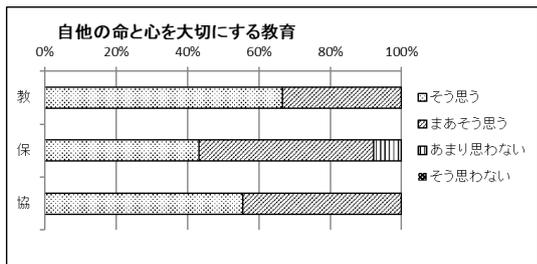
教員が高い一方、委員と保護者の評価が比較的低いことから、進路関係行事の取り組みの様子や成果の発信に課題があると判断できる。

(7) 学校は、生徒が礼儀やマナー、社会人として必要な規範意識を身に付けられる指導を行っている。



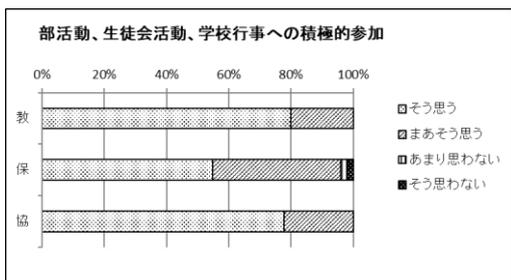
教員、委員ともに同じ傾向の評価であり、規範意識に関する指導に満足度が高い。一方で、問題を感じている保護者もいることがわかる。

(8) 学校は、生徒が自他の命と心を大切にせる教育に努めている。



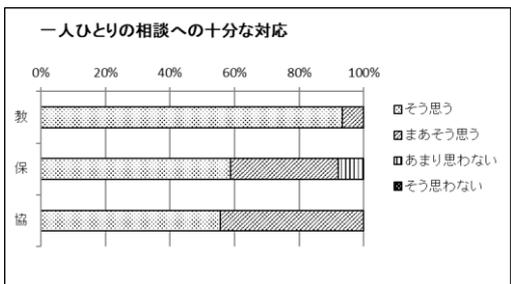
教員と委員は、学校の取り組みに肯定的な評価をしているが、問題を感じている保護者がいることがわかる。具体的な問題を確認し改善を図る必要がある。

(9) 学校は、生徒が部活動、生徒会活動、学校行事に積極的に参加するよう指導している。



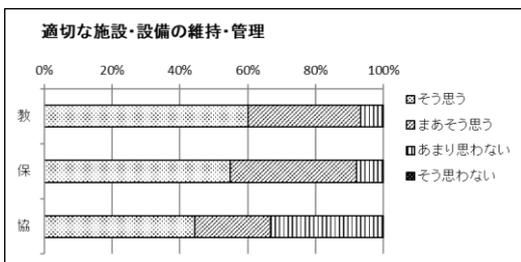
教員と委員の評価が高く評価している一方で、生徒の取り組みに対する指導にやや問題を感じている保護者がいることがわかる。新型コロナウイルス感染防止で多くの制約が続く中、生徒の活動機会確保の工夫が求められる。

(10) 学校は、生徒一人ひとりの相談に対して、十分に対応している。



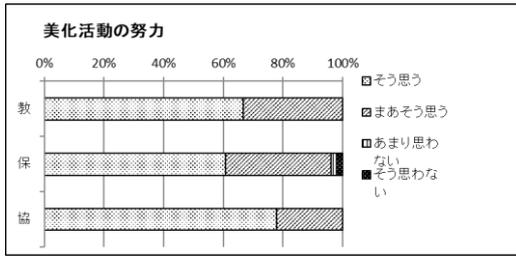
全体的に評価が高いが、生徒の相談にやや不十分さを感じている保護者がいる。生徒個々への丁寧な相談や対応が求められていることが判断できる。

(11) 学校は、生徒が安全に学校生活を送れるように、施設・設備の維持・管理に努めている。



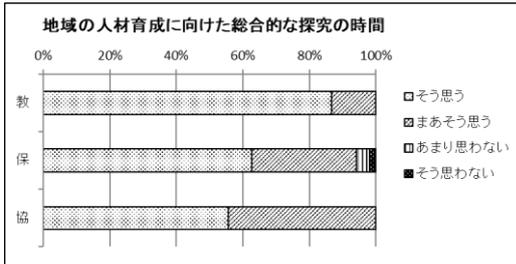
施設・設備の維持・管理に対して、教員と保護者の評価は高いが、委員は比較的lowく、やや課題を感じていることがわかる。

(12) 学校は、生徒が清潔な環境で生活し学ぶことができるように、学校内外の清掃などの美化活動に努めている。



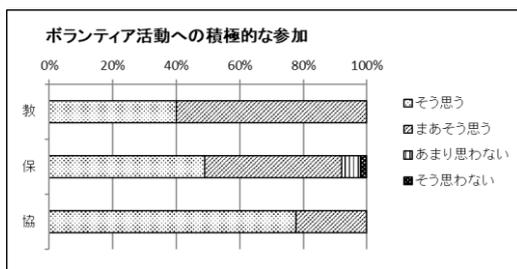
三者ともに、(11)の施設・設備の維持・管理に比べて評価がやや高い傾向がある。一方、やや課題があると感じる保護者もいることから、校内外の清掃指導を引き続き十分に行っていく必要がある。

(13) 学校は、地域の発展に貢献する人材を育てるため、総合的な探究の時間の授業を工夫している。



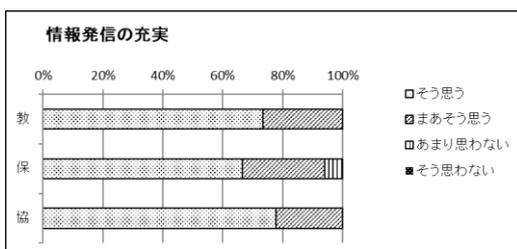
教員や委員の評価が高い一方で、保護者の評価はやや低い。学校の広報紙やホームページで授業の内容や活動成果の紹介は行ってきたが、内容充実と情報発信について、今後もより一層の工夫が求められる。

(14) 学校は、生徒が地域のボランティア活動に積極的に参加するようにしている。



三者ともに、「まあそう思う」の評価が多く、教員の「そう思う」は少ない。コロナ禍や交通状況などの事情から、ほとんどのボランティア活動が実施できていないことからの評価結果とみられる。

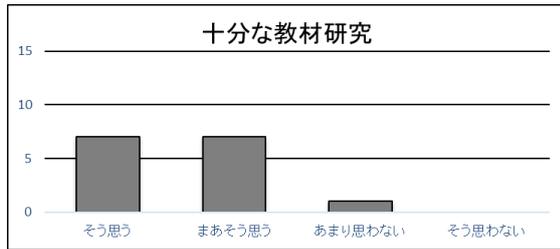
(15) 学校は、校報の定期的な発行や学校HPの更新を行い、情報発信に努めている。



三者ともに同様の評価傾向にある。本年度は、年8回の広報の定期発行、トピック的な活動ごとの学校ホームページの記事更新を行っているが、保護者の中には、さらに情報発信が必要と考える保護者がいることがわかる。

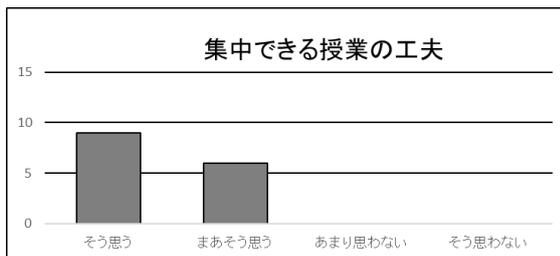
5 授業に関する教員の自己評価

(1) 教材研究を十分に行って授業に臨んでいる。



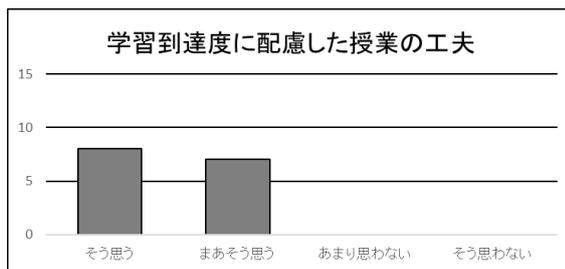
ほとんどの教員が、十分に教材研究を行って授業に臨んでいるが、「まあそう思う」とする回答が「そう思う」を上回っていることから、教材研究のさらなる必要性を感じていることがわかる。一方で、「あまり思わない」の回答もあることから、教材研究の時間確保や内容充実に課題意識をもっている教員がいることもわかる。

(2) 生徒が集中して授業に取り組めるように授業の工夫をしている。



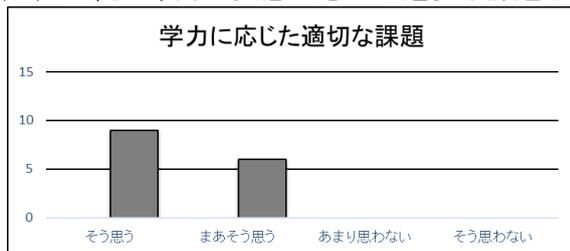
「そう思う」の回答が多いことから、各授業で集中できる授業の工夫がされていると判断できる。一方で、「まあそう思う」の回答もあることから、さらなる改善が必要と認識している教員もいることがわかる。

(3) 生徒一人一人の学習到達度に配慮し、分かりやすい授業を工夫している。



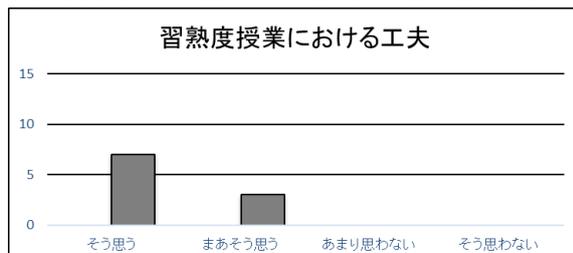
全体的に学習到達度に配慮した授業をしていることがわかる。一方で、「まあそう思う」の評価がやや多いことから、課題を感じながら授業を行っていることがわかる。

(4) 生徒の学力の実態に応じた適切な課題を与えるようにしている。



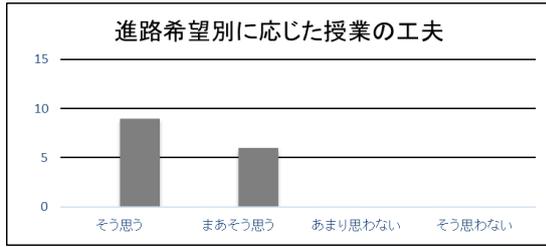
全体的に学力に応じた課題を設けた授業に努めていることがわかるが、「そう思う」の評価が低く、「まあそう思う」の評価が多いことから、課題を感じながら授業を行っていることがわかる。

(5) 習熟度別授業による効果が最大限発揮できるような授業を工夫している。(該当者のみ)



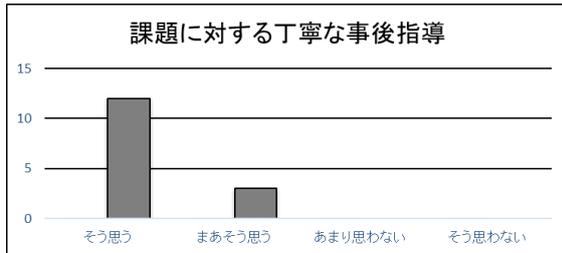
2展開または3展開の習熟度別授業を実施するにあたり、担当者が連携しながら生徒の実態に応じた指導を行っていると実感しており、そのことから全体的に評価が高くなっていると判断できる。

(6) 進路希望別に対応できるように授業を工夫している。



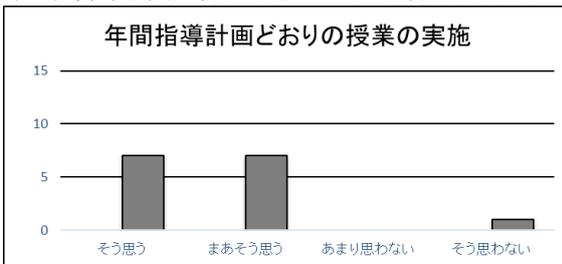
多くの教員が、生徒の多様な進路希望に沿ったこまやかな集団指導、個別指導の必要性を認識し、実践していることがわかる。現在は、進学希望者全員を課外授業の対象としているが、就職希望者に向けた講座や個別指導も実施している。

(7) 提出された課題（宿題）に対して、コメントを添えるなど事後指導を丁寧に行っている。



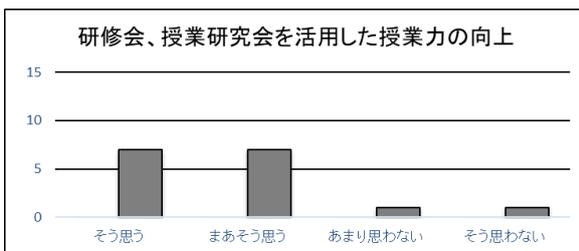
「まあそう思う」に比べて「そう思う」とする回答が多いことから、多くの教員が丁寧な事後指導を心掛けて指導に取り組んでいることがわかる。

(8) 学習年間指導計画どおりに授業を実施している。



「そう思う」「まあそう思う」という肯定的な評価がほとんどであるが、「そう思わない」という回答もあった。生徒の状況により指導計画を見直すなど、生徒の実態に合わせて工夫した授業を行っているが反映した結果と思われる。

(9) 各種研修会や研究授業を活用して授業力の向上に努めている。



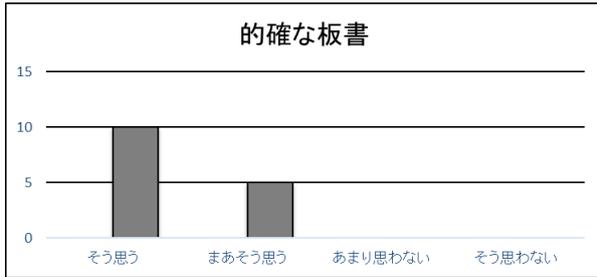
「まあそう思う」の回答が多いことから、各種研修や研究授業の重要性を認識しつつも、満足はできていないことがわかる。校内外での研修や研究のための時間確保が課題である。

(10) 生徒が聞き取りやすいよう、声の大きさや話し方に留意している。



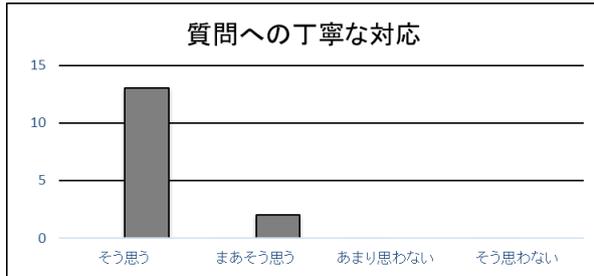
全体的に評価が高い。ほとんどの教員が、適切な声の大きさや話し方をするよう工夫していることがわかる。

(1 1) 授業の板書を的確に行っている。



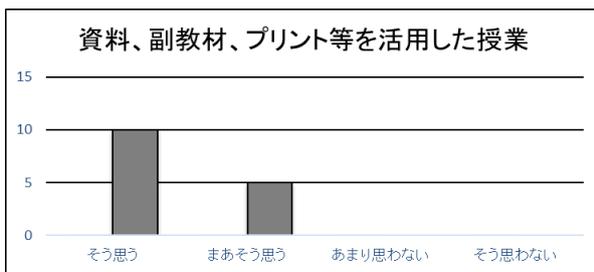
全体的に生徒にとって分かりやすい板書に努めていることがわかるが、「まあそう思う」の評価があるから、課題を感じながら授業を行っている教員がいることもわかる。

(1 2) 生徒からの質問に対して丁寧に答えている。



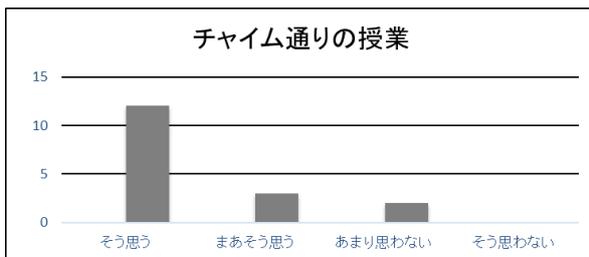
「そう思う」の評価が多いことから、生徒からの質問に対して多くの教員が丁寧な対応を心掛けるようにしていることがわかる。

(1 3) 資料、副教材、プリント等を有効に活用して授業を行っている。



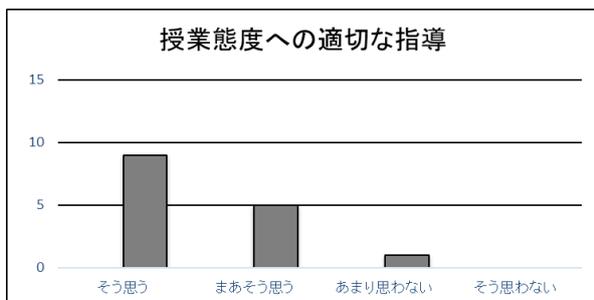
全体的に工夫し努めていることがわかる。紙の教材だけでなく、ICT 機器もより効果的に活用しながら授業をしていくことが求められる。

(1 4) 時間通り (チャイム通り) 授業を行っている。



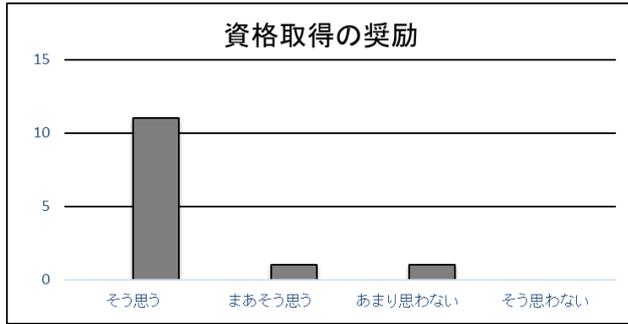
「あまり思わない」の回答があることから、時間通りの授業を行えないことがあるとわかる。時間通りに授業を行うことを次年度は徹底する必要がある。

(1 5) 授業中の私語や居眠りなど、授業態度について適切に指導している。



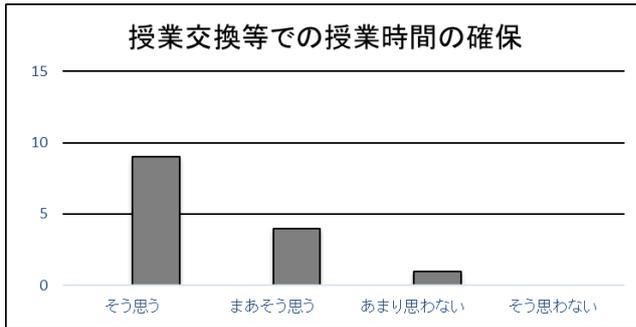
全体的に適切な指導ができている一方で、「あまり思わない」という評価もあることがわかる。各授業の中で、教員が学習内容の充実や規範意識の育成を徹底して続けていくことが必要である。

(16) 生徒の学習の動機付けとして、資格取得を奨励している。(該当教科のみ)



全体的に高い評価であるが、「あまり思わない」という評価もあることがわかる。各教科に関連する英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ワープロ検定を実施しており、金山町教育委員会と連携した資格取得支援を行っている。

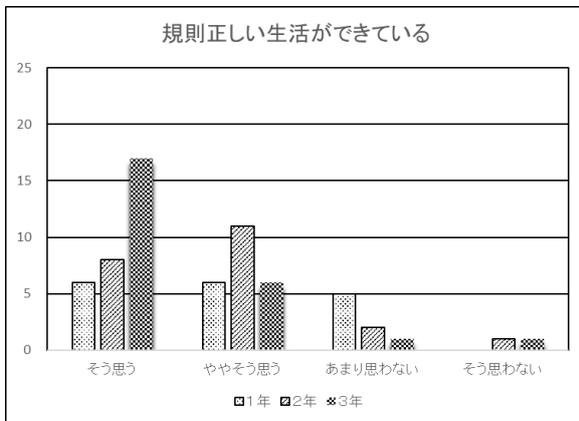
(17) 授業交換や代講等により授業時数の確保に努めている。



全体的に工夫し努めていることがわかる。

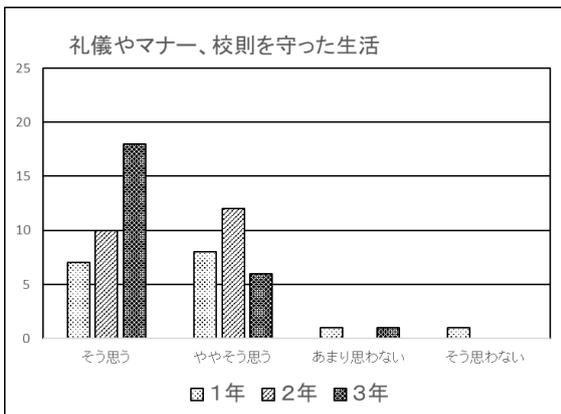
6 生徒アンケート結果

(1) 規則正しい生活を送ることができるよう心がけている。



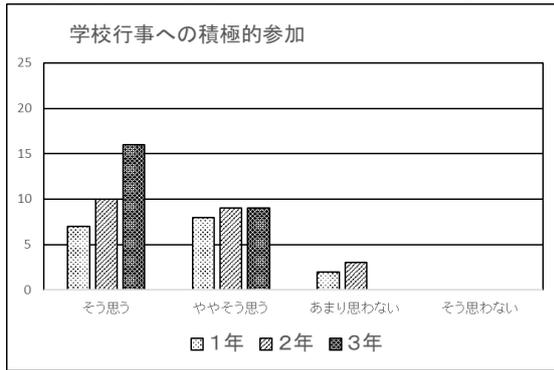
全体的に規則正しい生活を心がけていることがわかる。1年に「あまり思わない」が比較的多いこと、2、3年に「そう思わない」がいることから、学校や家庭、寮での規則正しい生活指導がより一層求められる。

(2) 礼儀やマナー、校則を守って生活している。



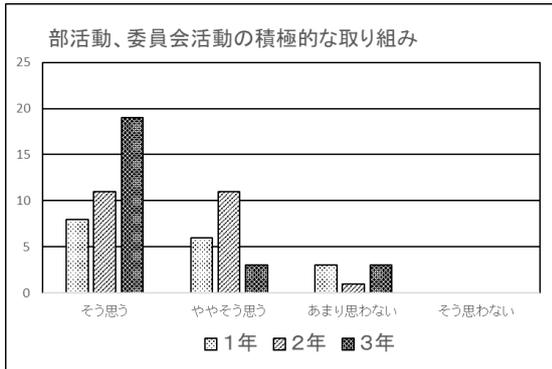
全体的に、礼儀やマナー、校則に対する意識がしっかりと保たれていることがわかる。

(3) 学校行事に積極的に参加している。



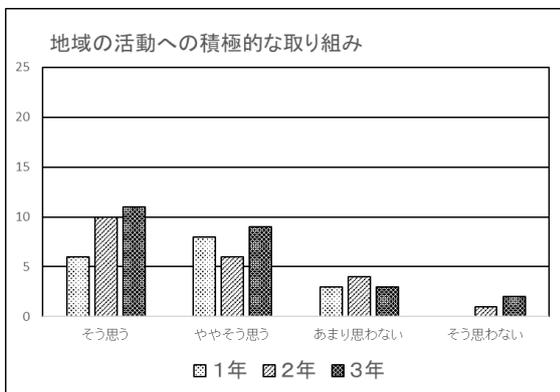
学年が上がるにつれて、学校行事に積極的に参加している。一方で1、2年生の評価の中には「あまり思わない」があり、行事参加の意識に個人差があることがわかる。

(4) 部活動、専門委員会活動などに積極的に取り組んでいる。



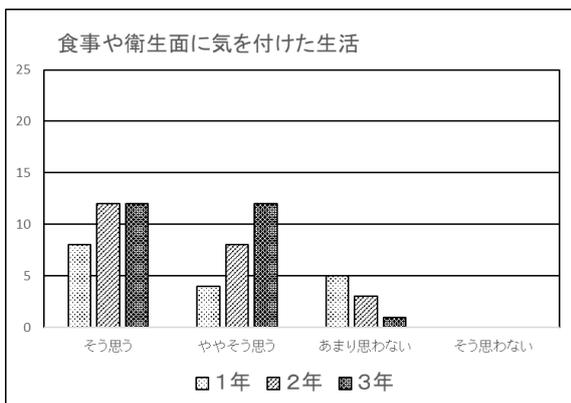
全体的に高い評価である。一方で、各学年に「あまり思わない」という評価があり、積極的な参加を促すための集団や個人への声掛けや支援が求められる。

(5) ボランティア活動などで地域の活動に積極的に取り組んでいる。



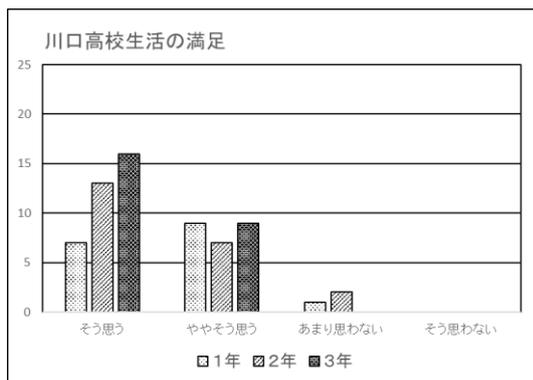
比較的肯定的な評価であるが、積極的に取り組んでいると実感できていない生徒も多いことがわかる。生徒たちは、コロナ禍の影響から大規模なボランティア活動の機会は限られる中、環境美化活動や保育所での読み聞かせなど、地域での活動を中心に参加している。

(6) 自分の健康のため、食事や衛生面に気をつけて生活している。



全体として、食事や衛生面に留意した生活を送っている様子がうかがわれる。一方で、「あまり思わない」という評価が1、2年に目立っていることから、授業や普段の学校生活の中で、健康管理のための食事や衛生面の指導を丁寧に行う必要がある。

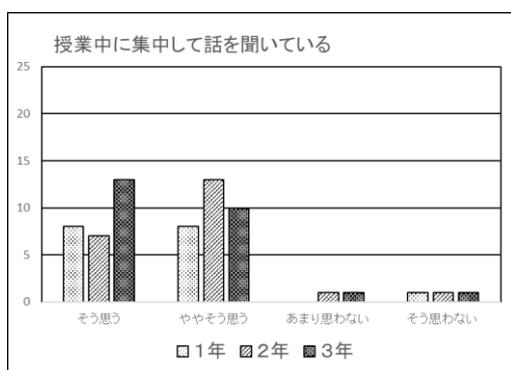
(7) 川口高校の学校生活に満足している。



全体的に満足感をもって生活していることがわかる。「あまり思わない」という評価は、3年にはなかったが、1、2年にはわずかにあった。新型コロナ感染予防によって生活に制約があったことや、学校行事が中止・縮小されたことも影響していると考えられる。

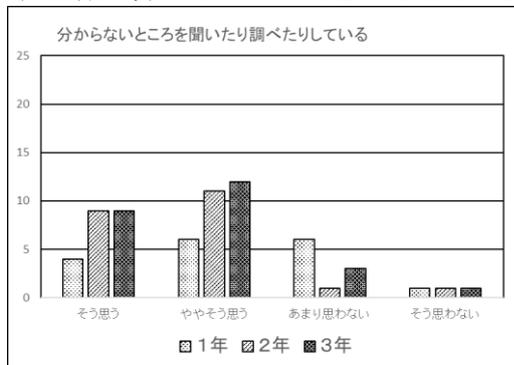
■ 授業・学習状況について

(8) 授業中、集中して先生の話聞いている。



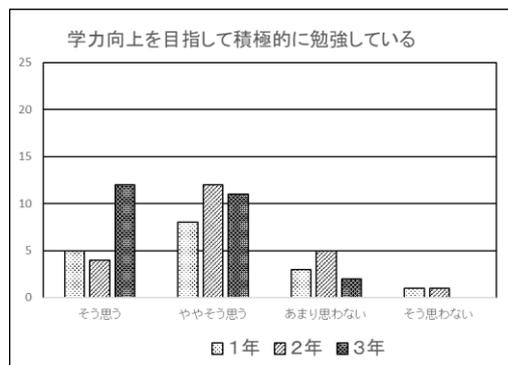
全体的にどの学年もよく取り組んでいる。一方で、「そう思わない」という評価もあり、すべての学年で、集中して授業に取り組めるような工夫や声掛けが引き続き必要であることがわかる。

(9) 授業で分からなかったところをそのままにせず、聞いたり調べたりして分かるようとしている。



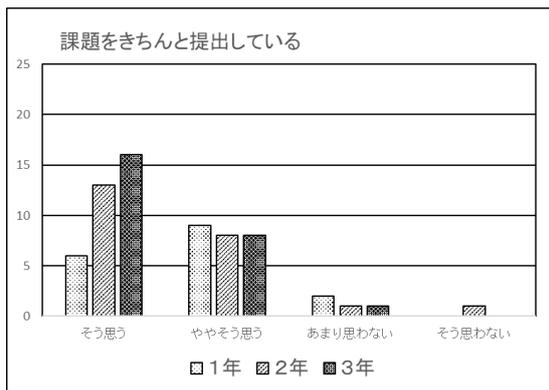
すべての学年で「ややそう思う」が「そう思う」を上回っている。また、1年と3年で「あまり思わない」という評価が目立つことから、質問を躊躇したり、分からないまま経過したりしている生徒が複数いることがわかる。

(10) 学力の向上を目指して、積極的に勉強している。



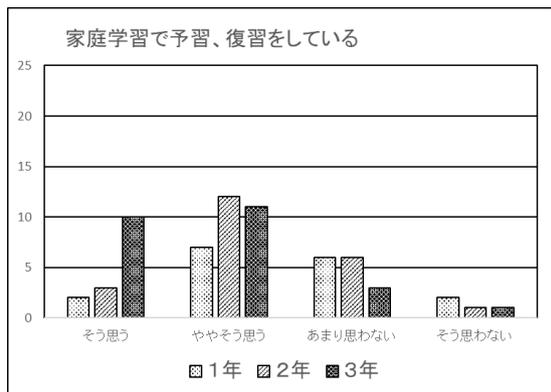
1、2学年で「ややそう思う」が「そう思う」を上回っている。また、すべての学年で「あまり思わない」の評価があり、1、2学年では「そう思わない」の評価がある。このことから、学力向上に対する意識が十分にもておらず戸惑いを感じながら学習している生徒がいることがわかる。

(1 1) 出された課題をきちんと提出している。



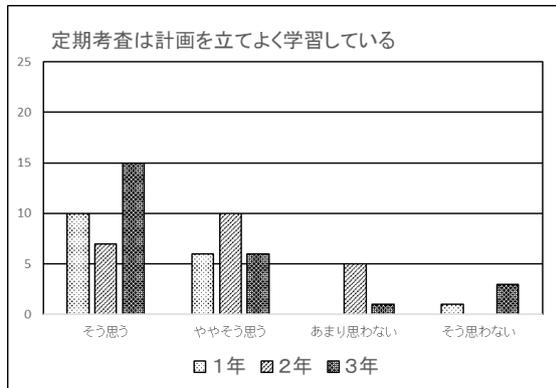
全体的に高い評価である。2、3年は「そう思う」が「ややそう思う」を上回っている。一方で、1年は「あまり思わない」の評価がやや多いことや、2年に「そう思わない」の評価があることから、課題の提出の必要性を感じつつも満足に提出できていないと感じている生徒がいることがわかる。

(1 2) 予習や復習など、家庭での学習を習慣として行っている。



全体として、家庭学習が十分ではないことがわかる。3年は、多くの生徒が学習習慣を身につけていると判断できるが、1、2年の予習や復習などの自主的な学習には課題があることがわかる。

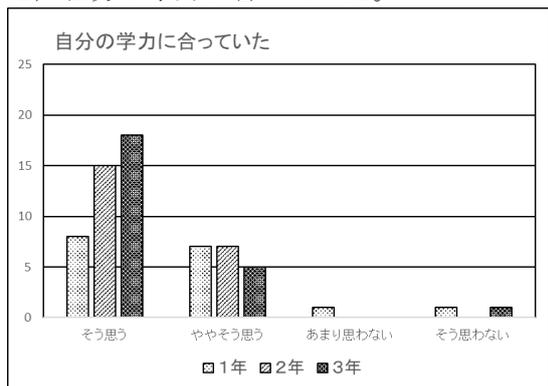
(1 3) 定期考査前は、計画を立てて、いつも以上に学習している。



1年と3年は「そう思う」が最も多い評価であった一方、2年は「やや思う」の評価が最も多く、「あまり思わない」の評価も他学年に比べて多かった。また、3年で「そう思わない」の評価が目立った。部活動や委員会活動で中心的な役割を担ったり、進路活動と学習を両立させたりすることに課題を感じる生徒がいることが影響していると考えられる。

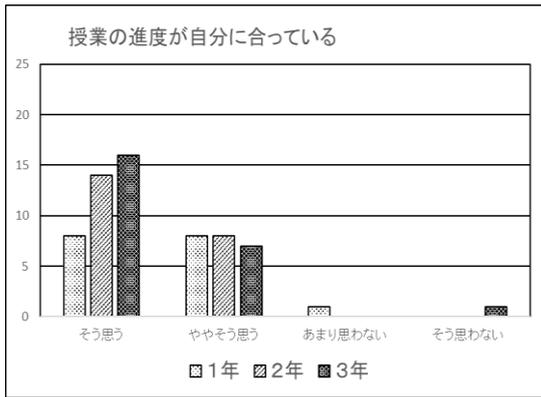
■ 習熟度授業について

(1 4) 自分の学力に合っていた。



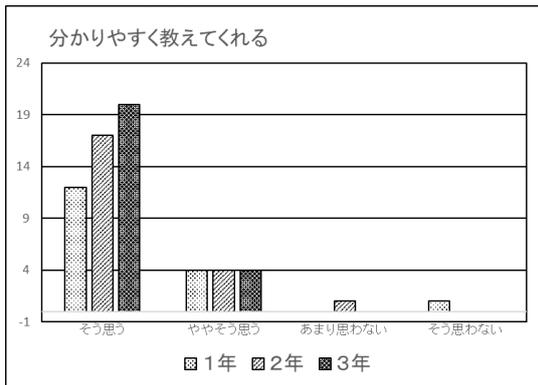
全体的に、自分の学力相応の習熟度授業に満足していることがわかる。1年と3年に「そう思わない」と評価している生徒がわずかにいることから、生徒の実態を適切に把握し、こまやかな指導を続けていく必要があることがわかる。

(15) 授業の進度が、自分には合っていた。



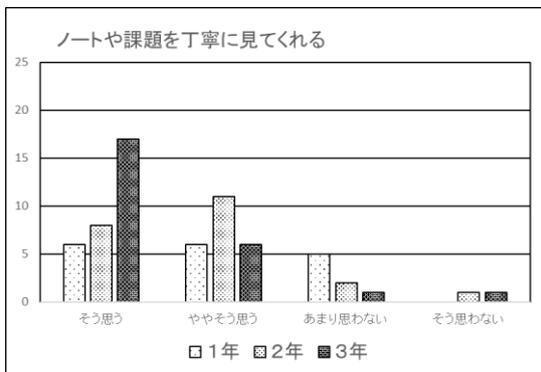
中間評価、ともに(14)と同様の傾向がわかる。すべての学年で「そう思う」が「ややそう思う」を上回っている一方で、やや進度が合わなくなっていると思っている生徒がいることがわかる。

(16) 先生が、分かりやすく教えてくれた。



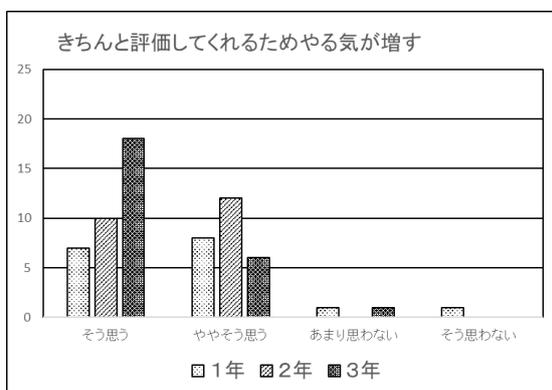
全体的に高い評価であり、どの学年も指導に満足していることがわかる。

(17) ノートや課題などの提出物を先生がていねいに見てくれた。



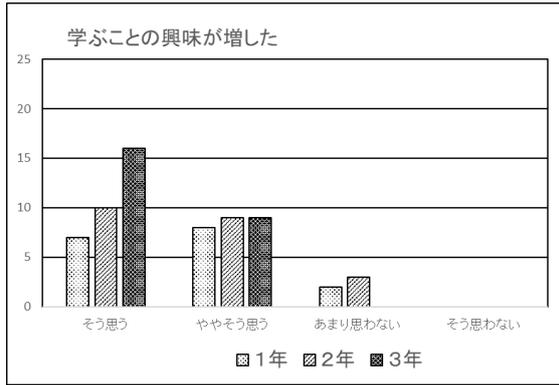
全体的に高い評価であるが、学年によってややばらつきがある。3年では「そう思う」の評価が多い一方、1、2年ではもっとノートや課題をよく見てほしいという思いがあることがうかがえる。

(18) がんばった分だけ先生がきちんと評価してくれたため、やる気が増した。



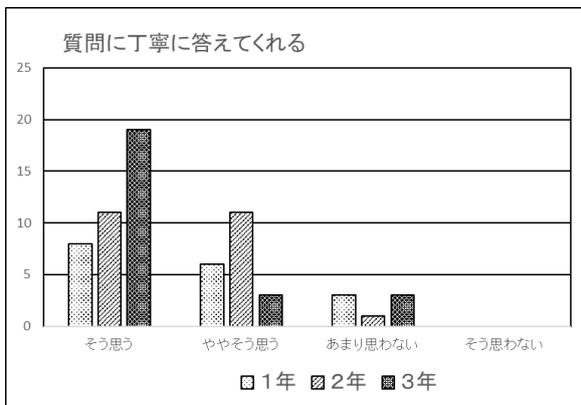
全体として高い評価である。特に3年は満足している生徒が多い。一方で、がんばりをもっと評価してほしいと感じている生徒もいることがわかる。

(19) 教科書以外のことも先生は教えてくれたため、学ぶことへの興味が増した。



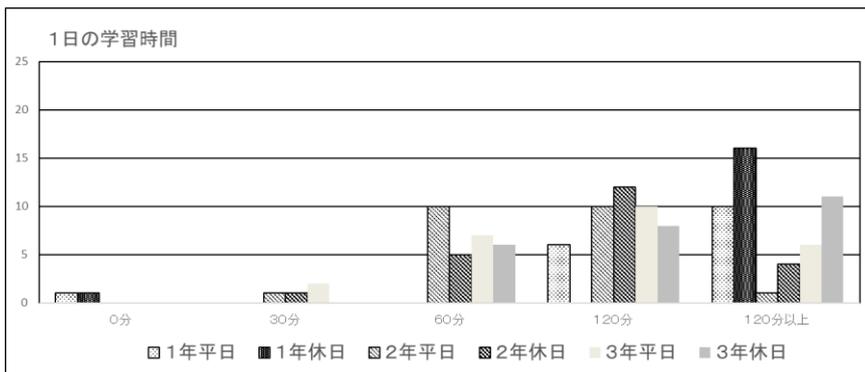
全体として高い評価であり、習熟度授業や課外授業での指導が生徒にとって効果的であることがわかる。一方で、1、2年の評価が3年に比べてやや低く、「あまり思わない」という評価もあることから、より一層、生徒の興味関心を引き立てるしくみや環境づくりが求められる。

(20) 質問に先生が丁寧に答えてくれたため、よく理解することができた。



どの学年も全体として高い評価である。授業者が、生徒一人一人に丁寧に応じて指導していることから、習熟度授業や課外授業での指導が生徒にとって効果的であることがわかる。一方で、「あまり思わない」と回答した生徒がすべての学年にいることから、生徒が質問しやすい雰囲気づくりやより丁寧にわかりやすい指導が求められる。

家庭学習時間（1日）について



どの学年も全体として、平日、休日ともに1～2時間程度の家庭学習に意識して取り組んでいることがわかる。学年の傾向では、1年は、平日、休日ともにほとんどの生徒が2時間以上学習を心掛けている。2年は、平日は1時間程度、休日は1～2時間程度学習している生徒が多い。3年は、生徒による学習時間のばらつきが大きく、平日は1時間前後、休日は2時間以上の学習をしている生徒が多いことがわかる。